

事業名	地球環境問題対策費	財務コード (事業)	838202
-----	-----------	---------------	--------

細事業名	その他事業経費(地球環境問題対策費)
------	--------------------

担当部課室	森林環境 部 森林環境総務 課 環境活動推進 担当(内線)	6095
-------	-------------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H4 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に イクレイ加盟自治体	その対象をどのような状態にして 本県の取り組み等を知ることができる	結果、何に結びつけるのか 環境先進県としての地位の確立
	<p>事業概要(イクレイへの加盟) イクレイ日本が実施する「地域のカーボンレジストリ」事業への参加を通じて、イクレイ加盟自治体等に対して本県の地球温暖化対策等に関する情報発信を行う。</p> <p>イクレイ(持続可能性を目指す自治体協議会) : 83か国1,011自治体/自治体連合(H24年9月現在) 地域のカーボンレジストリ事業 : 自治体の地球温暖化対策の取り組み及びその成果等の情報を国内外の専用ウェブサイトで公開し、広く世界に情報発信するとともに自治体間での情報共有を行うことを目的としている。イクレイ加盟自治体を中心に平成23年度から取り組まれている。</p> <p>近年の実績等 H21年度 イクレイ世界大会(カナダ・エドモント)で開催されたイクレイ世界大会において、早くからイクレイに加盟し、長きに渡って持続可能な社会づくりに尽力してきた本県の功績に対して記念品が贈られた。 H23年度 世界中の自治体が協力して気候変動対策に取り組むことを宣言しているメキシコシティ協定に署名するとともに、イクレイ日本が実施する「地域のカーボンレジストリ」事業に参加した。</p> <p>事業概要(グリーン購入ネットワークへの加入) グリーン購入ネットワークを通じて提供されるグリーン購入の最新情報や率先した取り組みを行う企業・行政機関等の先進事例やノウハウに関する情報を収集する。</p> <p>グリーン購入ネットワーク: グリーン購入の取り組みを促進するために設立されたグリーン購入に率先して取り組む企業、行政機関、民間団体のネットワーク</p>		
事業の内容 主に 24年度			
根拠法令等			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 イクレイ加盟自治体 等への情報発信の 回数	1回	2回	1回	2回		活動指標 目標設定の考え方 毎年1回を基本として過去の実績を 参考にした。 データの出典等 過去の実績数値
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		50.0 %			
成果指標 成果指標達成率 (実績値/目標値)						成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
			%			
決算額、予算額	540		540	540	0	成果指標によらない成果 イクレイの国際的なネットワークを通じて 本県の環境施策や地球温暖化対策など を世界の環境先進自治体へ情報発信 し、海外の自治体などに向けて広くア ピールすることで、環境先進県としての本 県の地位向上に繋がっている。
(千円) うち一財額	540		540	540	0	
所要時間(直接分)	5 時間		10 時間	10 時間	0 時間	
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間	
所要時間計	5 時間		10 時間	10 時間	0 時間	
人件費1st 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	10		21	21	0	

これまでの事業の見直し・改善状況

なし

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方	数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H24年度活動指標達成率			
c	c		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方	必ず記入すること
H24年度成果指標達成率			
	b		イクレイの国際的なネットワークを通じて本県の環境施策や地球温暖化対策などを世界の環境先進自治体へ情報発信し、海外の自治体などに向けて広くアピールすることで、環境先進県としての本県の地位向上に繋がっており、意図した成果はほぼ上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	イクレイが実施するプロジェクトへの積極的な参加や国際的なネットワークを活用した情報収集・発信に努めているところであるが、加盟から20年を経過した近年においてはイクレイを活用した取り組みは加盟当初と比べて低調になっている。 インターネットの普及により国内外の環境施策に関する情報収集や情報発信が容易になっていることや国内会員である自治体数は減少傾向にあり、当該事業を継続していくことの必要性は薄れていることから、イクレイからの脱退を含めて見直しが必要と考える。	a

・「以外の判断項目」の欄
 必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
/	/	/

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
廃止	イクレイから脱退するため、同団体に支払う年会費(540千円)は廃止。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。